

十月行事予定

歓喜講祈禱会

10月17日(日) 午前11:00 講金:3,000円也

歓喜講恒例の広間催し物は中止となります。

※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

朝まいり会

10月1日～7日 午前8:00～8:30 会費:500円也

写経の会

10月9日(土)、10日(日) 午前10:00のみ 会費:500円也

※事前予約制 詳しくは2面をご覧ください

合同大般若法要

10月25日(月) 午前11:00 法要料:5,000円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。

※法要は僧侶のみで行います、ライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

十一月の行事 御縁日大法要

写経供養会

11月14日(日) 午前11:30 法要のみ執り行います

御 暈 講

11月20日(土) 午前11:00 講金:1,500円也

※法要は僧侶のみで行います。ご信徒様におかれましては、ご自宅でのお勤め、またはライブ配信をご利用ください(詳しくは2面をご覧ください)

いちよう

No,346

令和3年9月20日発行

発行所: 待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

「使咒法経のご供養法」

本龍院執事 深谷昌広

待乳山でお授けしているお経本『大聖歓喜天
礼拝(らいはい)作法 全』の「大聖歓喜天使咒
法経(ししゅほうきょう)」は、実は聖天様のご供養
法についての記述は省略されています。

例えば大蔵経などに収められております使咒
法経には「オンギャクギャク…」の真言と、二度目
の「爾時…」の間に、浴油の作法、つまり仏像や
壇を作り、供物を準備し、ご供養する方法が書か
れています。

省略された作法は、行法がざっくりと説明され
ておりますが、出家者を対象に説かれるもので在
家の方にはこの部分を省略しても全く差支えは
ありません。むしろ無い方がかえって聖天様の功
徳が分り易いと思います。生半可な知識はか
えってないほうがよいと言えます。

しかしこの省略部分には、皆様にとっても興味
深い記述がありますので2, 3ご紹介いたします。

例えば、「其造像直 不得還價」とあります。こ
れを直訳すると「尊像を作る時には値切っては
いけない」という事ですが、欲得に流されず中途
半端な供養にならないようにという事の例えなの
でしょう。その精神は今でも引き継がれており、当

山の仏具や調度品、お供え物にはできる限り気を
配っております。

また、ご祈禱には一升のごま油を用いて、七日
続ければ直ちに所願が成就すると書かれていま
す。このことは、当山の浴油祈禱による皆様の祈
願が一週間単位の修法をする事の根拠の一つ
でしょう。

他には、お団を作り大根やお酒などと共にお
供えすること、さらには「お供えしたお下がりは一
定食べなさい、そうすれば氣力を得られる。」と書
いてあります。このことは鎌倉時代の天台密教の
作法や口伝などを集めた『阿婆縛抄(あさしば
しょう)』にも「お団を少々施主の許に送るべし。と
あるのは、この文に依るなり」とあります。鎌倉時
代でも、お下がりを願主様にお分けする習慣が
あったようです。

現在の待乳山では、毎朝の浴油祈禱にお供
えしたお饅頭や葛湯(くずゆ)、懷中汁粉(かい
ちゅうしるこ)をお供物としてご祈禱のお札や守り
と一緒に授けております。このお下がりのお
供物は、いわば聖天様のお力のおすそ分けで
す。皆様是非ともお召し上りください。



皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。



仏具解説

華籠皿と散華



花による仏様の供養は古くからおこなわれており、経典にも説かれております。天台宗の法要ではしばしば堂内に華を散らす「散華」の作法が組み込まれており、当院では主に百味法要の際に「散華」が行なわれます。この作法は、インドで貴人が来訪するときに入り口や室内に生花を散らして清める風習から来ているといわれております。散華も元来は生花を使用しておりましたが、現在では花を模して作った紙製のものが主に使われております。華籠皿とは、読んで字のごとく華を盛る籠の事です。素材は竹製・木製であったり、金属製で装飾が施されているものもあります。当院では金属製で、式衆(しきしゅう)には赤と緑と白の紐、導師には紫の紐がついている華籠皿を使用しております。百味法要では様々な方法で仏様を堂内にお呼びして、おもてなしをしております。例えば、式衆の称える声明、導師の鳴らす鈴の音、沈香の煙、たくさんのお供物などにもそのような意味が含まれており、五感すべてで仏様のおもてなしを表現していると言えます。とりわけこの散華の花びらのひらひら舞う様子は、視覚的にも美しく、散る音も感じさせ、まるで香りすら漂ってくるようです。仏様をお供養するという中で散華の役割は大きいのではないのでしょうか。そのような意味を踏まえて法要をご覧いただければ、また違った感覚でお参りが出来るでしょう。9月の御縁日法要の開山会は百味供養の形で行われます。9月いっぱいまでホームページよりアーカイブのリンクがございますので、まだご覧になってない方はどうぞご覧下さい。美しい装飾が施された華籠皿に盛られた5色の散華で聖天様をお迎えすることで、聖天様もお喜びになり、より大きな功德をいただけることでしょう。

----- 諸行事参加について -----

コロナ禍が続いておりますが、現在の諸行事の参加ならびに申込方法をお知らせいたします。

◆朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月1日から7日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は10名です。写経の会は第2日曜日とその前日の土曜日の計2日、それぞれ定員28名で午前10時のみの開催となります。いずれも毎月15日より、翌月分のご予約を専用電話番号にて、ご本人様のみ受付いたします。

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。



予約電話番号080-7419-1297

<http://www.matsuchiyama.jp/2asamairi6.html>

◆日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。
※今後の情勢に応じて、変更する場合がございます。

◆諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行います。ライブ配信がございますので、ご利用ください。お申込み頂いたお礼、お供え物等は法要終了後より受け取り可能です。

<http://www.matsuchiyama.jp/houyoulive.html.html>



コロナ禍写経の様子

【行事紹介】十月御縁日大法要

歓喜講祈禱会

10月17日(日) 午前11時 講金:3,000円也



なお法要の様子はライブ配信いたします。お名前のお読み上げをご辞退される方は受付時にお申し付けください。また残念ながら昨年同様、広間での催し物は中止となります。法要当日、一般参拝は出来ません。ライブ中継を行いますので、ご自宅でご一緒にお勤めください。(詳細は2面参照)

諸魔を払い、皆様の開運招福を祈願する歓喜講大般若転読祈禱法要を厳修いたします。法要では住職により講中にお申込みの方のお名前をお一人ずつお読み上げいたします。ぜひご家族の分も合わせてお申し込みください。講中に申し込みの方には、ご芳名入りの開運招福のお札とデザインを一新したオリジナルエコバッグ、お神酒をお授けいたします。

待乳山便り

灯明講 報告



立秋を過ぎ、暦の上ではもう秋ですが、残暑厳しい1日となったこの日、灯明講大般若法要が執り行われました。当講より、コロナ対策の為に長らく中断しておりました世話人による御宝前への献供作法を再開いたしました。法要ではまず世話人が華籠皿(けこざら)に灯された蠟燭(ろうそく)をかかげ持って入堂し、それを御宝前に捧げる「献灯(けんとう)の儀(ぎ)」が行われました。蠟燭の柔らかに揺れる明かりに照らされた室内は、よりいっそう幻想的な雰囲気となりました。献灯が済むと皆さまの家内安全、身体健全などを祈念して大般若転読を行いました。※法要は総代3名、世話人2名で列席で執行いたしました。ご信徒の皆様にも早くご参加いただけるよう、収束を祈っております。

ご奉納



長谷川アイ子様より内々陣西浴油壇用「緞帳(どんちょう)」をご奉納賜りました。ありがとうございます。



安井雅子・直美様より百味法要に用います「華籠皿(けこざら)」をご奉納賜りました。ありがとうございます。

